

2023 年度浦安キャンパス  
大学院学生による  
授業評価アンケート実施結果

浦安キャンパス研究科連絡・調整会議

## 1 アンケートの概要

### (1) 目的

浦安キャンパス大学院のファカルティ・ディベロップメント及びスタッフ・ディベロップメント活動の一環として、本学の教育の質的改善に役立てることを目的とし、大学院学生による授業評価アンケートを実施した。

### (2) 実施期間

2023年7月3日（月）9：00～7月15日（土）23：59

### (3) 実施対象授業科目等

アンケート実施期間中に開講している専任教員が大学院で担当する授業科目(特別演習、特別研究及び履修者2名以下の科目は除く。)のうち、専任教員1人あたり履修登録者数が最多の1科目

なお、1つの授業科目を複数教員で担当している場合は、当該授業科目の代表教員を授業担当教員とした。

### (4) 実施方法

ア アンケートは、学生がPC又はスマートフォン等を利用してアンケート実施期間中の任意の時間にWebポータルシステムから回答した。

イ 教員は、アンケート実施期間中の該当授業においてアンケート回答の時間を設けることができることとした。

### (5) 集計結果分析及び授業改善策等について

授業担当教員はアンケート集計値をWebポータルシステムから確認し、集計結果分析及び授業改善策(現状の説明・課題及び改善点・学生向けコメント)を浦安キャンパス研究科連絡・調整会議委員長に提出した。

※ 授業ごとの集計結果分析及び学生向けコメントについては「2 集計結果分析(P.4～16)」のとおり。

### (6) アンケート項目

1	あなたはこの授業1回につき、 <u>予習</u> に平均何時間取り組みましたか
	3時間以上 / 2時間以上3時間未満 / 1時間以上2時間未満 / 30分以上1時間未満 / 30分未満 / ほとんどしなかった
2	あなたはこの授業1回につき、 <u>復習</u> に平均何時間取り組みましたか
	3時間以上 / 2時間以上3時間未満 / 1時間以上2時間未満 / 30分以上1時間未満 / 30分未満 / ほとんどしなかった
3	教員はこの授業の目的と目標をきちんと説明しましたか
	強くそう思う / そう思う / どちらともいえない / そうは思わない / 全くそうは思わない

4	教員の説明は分かりやすかったですか
	強くそう思う / そう思う / どちらともいえない / そうは思わない / 全くそうは思わない
5	教員の授業に対する意欲や熱意は感じられましたか
	強くそう思う / そう思う / どちらともいえない / そうは思わない / 全くそうは思わない
6	教員の学生への対応(質問等に対する対応)は適切でしたか
	強くそう思う / そう思う / どちらともいえない / そうは思わない / 全くそうは思わない
7	この授業を受けたことで研究に対する意欲が増しましたか
	強くそう思う / そう思う / どちらともいえない / そうは思わない / 全くそうは思わない
8	この授業に対するあなたの満足度はどの程度でしたか
	満足 / やや満足 / どちらともいえない / やや不満 / 不満
9	この授業はあなたの大学院入学の目標達成に関してどんな意味を持ちましたか (自由記述)。
10	この授業について改善すべきと考えられる点があったら書いてください (自由記述)。

(7) アンケート実施科目及び回答者数

実施対象科目数：22 科目

回答者数：111 名〔対象者数（履修者数）136 名〕

研究科	科目名称	氏名	対象者数	回答者数
応用言語学研究科	翻訳技法特論	神崎 龍志	3	3
応用言語学研究科	現代中国語文法特論	曹 泰和	3	3
応用言語学研究科	日本語教育方法特論	田川 麻央	7	7
応用言語学研究科	応用言語学研究法特論	嶋田 珠巳	10	10
応用言語学研究科	中国古代思想特論	中嶋 諒	4	4
応用言語学研究科	日本語教育学特論	木山 三佳	7	7
応用言語学研究科	応用言語学特論	中川 仁	10	10
応用言語学研究科	日本語学特論	佐々木 文彦	6	6
応用言語学研究科	日・中比較文学特論	河村 昌子	4	4
応用言語学研究科	日本語教育教材特論	片桐 史尚	9	8
経済学研究科	経営学特論	寺村 絵里子	5	3
経済学研究科	研究・論文技法演習	影山 純二	13	7
経済学研究科	ミクロ経済学特論	廣部 恒忠	12	7
経済学研究科	実証分析特論	中澤 栄一	12	11
経済学研究科	経営管理特論	岡村 龍輝	4	4
経済学研究科	経済政策特論	宮崎 礼二	6	5
経済学研究科	会計学特論	池田 晋	4	4
不動産学研究科	都市空間情報分析特論	表 明榮	3	2
不動産学研究科	不動産会計特論	山本 卓	4	3
不動産学研究科	日本不動産事情特論	兼重 賢太郎	4	2
不動産学研究科	不動産企画・経営特論	中城 康彦	3	1
不動産学研究科	都市空間マネジメント特論	前島 彩子	3	0
合 計			136	111

## 2 集計結果分析

### (1) 応用言語学研究科

#### 【集計結果】

対象者数(のべ)	63
回答者数(のべ)	62
回答率	98.4%

(1) あなたはこの授業1回につき、予習に平均何時間取り組みましたか		
3時間以上	2	3時間以上 3.2%
2時間以上3時間未満	15	2時間以上3時間未満 24.2%
1時間以上2時間未満	23	1時間以上2時間未満 37.1%
30分以上1時間未満	16	30分以上1時間未満 25.8%
30分未満	5	30分未満 8.1%
ほとんどしなかった	1	ほとんどしなかった 1.6%
(2) あなたはこの授業1回につき、復習に平均何時間取り組みましたか		
3時間以上	2	3時間以上 3.2%
2時間以上3時間未満	12	2時間以上3時間未満 19.4%
1時間以上2時間未満	16	1時間以上2時間未満 25.8%
30分以上1時間未満	15	30分以上1時間未満 24.2%
30分未満	14	30分未満 22.6%
ほとんどしなかった	3	ほとんどしなかった 4.8%
(3) 教員はこの授業の目的と目標をきちんと説明しましたか		
強くそう思う	44	強くそう思う 71.0%
そう思う	17	そう思う 27.4%
どちらともいえない	0	どちらともいえない 0.0%
そうは思わない	1	そうは思わない 1.6%
全くそうは思わない	0	全くそうは思わない 0.0%
(4) 教員の説明は分かりやすかったですか		
強くそう思う	51	強くそう思う 82.3%
そう思う	10	そう思う 16.1%
どちらともいえない	1	どちらともいえない 1.6%
そうは思わない	0	そうは思わない 0.0%
全くそうは思わない	0	全くそうは思わない 0.0%

(5) 教員の授業に対する意欲や熱意は感じられましたか												
強くそう思う	50	<table border="1"> <tr><td>強くそう思う</td><td>79.4%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>20.6%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>そうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>全くそうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> </table>	強くそう思う	79.4%	そう思う	20.6%	どちらともいえない	0.0%	そうは思わない	0.0%	全くそうは思わない	0.0%
強くそう思う	79.4%											
そう思う	20.6%											
どちらともいえない	0.0%											
そうは思わない	0.0%											
全くそうは思わない	0.0%											
そう思う	13											
どちらともいえない	0											
そうは思わない	0											
全くそうは思わない	0											
(6) 教員の学生への対応(質問等に対する対応)は適切でしたか												
強くそう思う	51	<table border="1"> <tr><td>強くそう思う</td><td>81.0%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>17.5%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>1.6%</td></tr> <tr><td>そうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>全くそうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> </table>	強くそう思う	81.0%	そう思う	17.5%	どちらともいえない	1.6%	そうは思わない	0.0%	全くそうは思わない	0.0%
強くそう思う	81.0%											
そう思う	17.5%											
どちらともいえない	1.6%											
そうは思わない	0.0%											
全くそうは思わない	0.0%											
そう思う	11											
どちらともいえない	1											
そうは思わない	0											
全くそうは思わない	0											
(7) この授業を受けたことで研究に対する意欲が増しましたか												
強くそう思う	43	<table border="1"> <tr><td>強くそう思う</td><td>68.3%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>25.4%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>6.3%</td></tr> <tr><td>そうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>全くそうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> </table>	強くそう思う	68.3%	そう思う	25.4%	どちらともいえない	6.3%	そうは思わない	0.0%	全くそうは思わない	0.0%
強くそう思う	68.3%											
そう思う	25.4%											
どちらともいえない	6.3%											
そうは思わない	0.0%											
全くそうは思わない	0.0%											
そう思う	16											
どちらともいえない	4											
そうは思わない	0											
全くそうは思わない	0											
(8) この授業に対するあなたの満足度はどの程度でしたか												
満足	61	<table border="1"> <tr><td>満足</td><td>96.8%</td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>1.6%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>1.6%</td></tr> <tr><td>不満</td><td>0.0%</td></tr> </table>	満足	96.8%	やや満足	1.6%	どちらともいえない	0.0%	やや不満	1.6%	不満	0.0%
満足	96.8%											
やや満足	1.6%											
どちらともいえない	0.0%											
やや不満	1.6%											
不満	0.0%											
やや満足	1											
どちらともいえない	0											
やや不満	1											
不満	0											

## 【研究科の総評】

大学院における授業は、本研究科の必修科目である「応用言語学研究法特論」、「応用言語学特論」を主軸とし、3分野のコースに分けられている。

また、この度のアンケートを実施した科目については次のようになっている。（「翻訳技法特論」、「現代中国語文法特論」、「日本語教育方法特論」、「中国古代思想特論」、「日本語教育学特論」、「日本語学特論」、「日・中比較文学特論」、「日本語教育教材特論」）

本研究科では、基礎言語学を学ぶことにより、それぞれの専門分野における研究方法との関連性という視点を重視し、各分野における基礎的な項目を網羅する形で学ぶことにより、それぞれの専門的な研究へと繋げていくことを主眼としている。これらの学びは、研究を進めていく上で必要不可欠なものであり、研究の根幹とされるべきことがらである。

これらを踏まえ、以下のようにアンケート調査の結果をもとに見解を加えていく。

アンケート調査をもとに、大学院生たちが、授業の予習にかける時間は、1時間から2時間となっていることから、一科目にかける時間はかなり短いと思われる。しかし履修上、他の科目との整合性を考えてみると、やはり妥当性があると思われる。また予習についても、1時間から2時間となっていることから、大学院生自身の時間的な配分を考慮して、このような結果を導きだしているということが理解できた。

教員の授業についても、その取り組みは、時間をかけて授業の準備をし、研究への取り組みをも示唆することがらも含め、授業を組み立てていることが理解でき、なおかつ、その説明についても、きちんと提示していることが分かった。

そして教員の大学院生への授業も特に少人数であるため、専門的な基礎事項を含め、各分野における論文の紹介、先行研究のありかた、最新の研究への動向などを提示し、授業のなかで、それをより良い方策として考え、論文を作成するために構築していく力を養っていることがよく理解できた。それは教員の授業に対する熱意であり、研究をしていくための姿勢である。さらに大学院生からの質問に対することがらについては、的確な指導を含め、課題への解決策を提示している。

授業を受けて、大学院生の研究への取り組みが、意欲を増したという点についても、教員の研究への助言、研究方法の提示、その研究方法の導きが的確であり、各研究分野に採用できる方策であったと理解できるものである。

それぞれの分野での授業の満足度についても、教員は十分に授業及び研究に対する姿勢を提示していることがうかがえる。研究には時間を要するものであり、各分野においての専門家である教員は、院生の研究分野を把握し、適切な助言と的確な研究への導きをおこなっていることが分かった。

最後に、どちらともいえないという意見については、大学院生の研究に対する戸惑いを提示しているのではないかと思われる。またやや不満という意見についても、同等の意見であると理解している。これらについては、指導教員と研究の進め方を相談していくことによって解決されるものであり、今後の動向に期待するものである。

現状についての把握を本研究科ではきちんと受け止め、アンケート調査の結果を把握していく所存である。

応用言語学研究科長  
中川 仁

【学生向けコメント】

翻訳技法特論
みなさん、前学期は大変熱心に授業に取り組んでもらえ、私も授業に熱が入りました。
現代中国語文法特論
前学期は、皆さん真剣に取り組みました。後学期でも多くの問題提起をし、中国語文法の基礎を固めつつ、専門的な知識を深めることを期待しています。
日本語教育方法特論
この授業で扱っている理論は日本語教育のみならず国語教育などさまざまな教授場面に関わる汎用性の高いものです。後学期も多面的に議論していきましょう。
応用言語学研究法特論
大学院に入ってどんなことから始めたらいいか、学びの基礎、姿勢の基礎からやりましたね。日本語で読み、書くということもまだ十分でない場合は、そのところも力をつけながら、がんばって修士論文を書いてください。それぞれの大学院生に各回何かが残るように授業を進めてきました。基本のことがきちんとできているかが、いい研究になるかどうかの大きなポイントになります。この授業ではその基本の基本を浸透させることに重点を置きました。今後はこの基本を大事に、学び続けて行ってください。
中国古代思想特論
後学期もよろしくお願いいたします。授業に関する意見などありましたら、お気軽にお伝えください。
日本語教育学特論
少なくとも、最初の頃のように無邪気に書いてあることを鵜呑みにして読むことはなくなってきたと思います。次は、広く、沢山の研究にあたるようにしていきましょう。後学期もよろしくお願いいたします。
応用言語学特論
大学院生の意見としては、それぞれの意見があり、研究する分野にもばらつきはあるものの、主軸と根幹の研究方法とその方策を理解するために知識の継続的な培養に努め、言語とその周辺の言語事象と諸要因についてみていくことを進める次第である。授業ではデータをみていくとか、数字をみていくとかではなく、人間が考えた言葉の研究の実態の書物を読むことによって、捉えていくことが新たな研究として、身に付けていただきたいことであり、これらを理解することは、学びと研究の両面を会得していく方策であることを提言しておく。
日本語学特論
この授業では比較的自由に各自の考えを述べてもらっていますが、自分の考えが何に基づいているのか、そのことを言うために自分は何を調べたのかなど、根拠を明確にしながらより客観的な議論を展開することができるように、後学期はさらに深いところを目指していきましょう。
日・中比較文学特論
いつも熱心に取り組んでくださりありがとうございます。後学期も引き続きよろしくお願いいたします。

## 日本語教育教材特論

教材を分析するには様々な語彙、文法、文化的背景を把握する必要があります。紋切り型の学びではなく、「ああ、そうだったのか」、「あれ、そんな視点があったんだ」、「え～今まで間違っていた」、「これは絶対に誰かに伝えたいことだ」というような感想が皆さんから語られるよう、後学期も獅子奮迅の勢い・努力でいきます！



(2) 経済学研究科

【集計結果】

対象者数(のべ)	56
回答者数(のべ)	41
回答率	73.2%

(1) あなたはこの授業1回につき、予習に平均何時間取り組みましたか		
3時間以上	9	
2時間以上3時間未満	9	
1時間以上2時間未満	13	
30分以上1時間未満	9	
30分未満	1	
ほとんどしなかった	0	
(2) あなたはこの授業1回につき、復習に平均何時間取り組みましたか		
3時間以上	9	
2時間以上3時間未満	0	
1時間以上2時間未満	10	
30分以上1時間未満	18	
30分未満	3	
ほとんどしなかった	1	
(3) 教員はこの授業の目的と目標をきちんと説明しましたか		
強くそう思う	38	
そう思う	3	
どちらともいえない	0	
そうは思わない	0	
全くそうは思わない	0	
(4) 教員の説明は分かりやすかったですか		
強くそう思う	38	
そう思う	3	
どちらともいえない	0	
そうは思わない	0	
全くそうは思わない	0	

(5) 教員の授業に対する意欲や熱意は感じられましたか												
強くそう思う	39	<table border="1"> <tr><td>強くそう思う</td><td>95.1%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>4.9%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>そうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>全くそうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> </table>	強くそう思う	95.1%	そう思う	4.9%	どちらともいえない	0.0%	そうは思わない	0.0%	全くそうは思わない	0.0%
強くそう思う	95.1%											
そう思う	4.9%											
どちらともいえない	0.0%											
そうは思わない	0.0%											
全くそうは思わない	0.0%											
そう思う	2											
どちらともいえない	0											
そうは思わない	0											
全くそうは思わない	0											
(6) 教員の学生への対応(質問等に対する対応)は適切でしたか												
強くそう思う	38	<table border="1"> <tr><td>強くそう思う</td><td>92.7%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>7.3%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>そうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>全くそうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> </table>	強くそう思う	92.7%	そう思う	7.3%	どちらともいえない	0.0%	そうは思わない	0.0%	全くそうは思わない	0.0%
強くそう思う	92.7%											
そう思う	7.3%											
どちらともいえない	0.0%											
そうは思わない	0.0%											
全くそうは思わない	0.0%											
そう思う	3											
どちらともいえない	0											
そうは思わない	0											
全くそうは思わない	0											
(7) この授業を受けたことで研究に対する意欲が増しましたか												
強くそう思う	39	<table border="1"> <tr><td>強くそう思う</td><td>95.1%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>4.9%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>そうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>全くそうは思わない</td><td>0.0%</td></tr> </table>	強くそう思う	95.1%	そう思う	4.9%	どちらともいえない	0.0%	そうは思わない	0.0%	全くそうは思わない	0.0%
強くそう思う	95.1%											
そう思う	4.9%											
どちらともいえない	0.0%											
そうは思わない	0.0%											
全くそうは思わない	0.0%											
そう思う	2											
どちらともいえない	0											
そうは思わない	0											
全くそうは思わない	0											
(8) この授業に対するあなたの満足度はどの程度でしたか												
満足	40	<table border="1"> <tr><td>満足</td><td>97.6%</td></tr> <tr><td>やや満足</td><td>2.4%</td></tr> <tr><td>どちらともいえない</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>やや不満</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>不満</td><td>0.0%</td></tr> </table>	満足	97.6%	やや満足	2.4%	どちらともいえない	0.0%	やや不満	0.0%	不満	0.0%
満足	97.6%											
やや満足	2.4%											
どちらともいえない	0.0%											
やや不満	0.0%											
不満	0.0%											
やや満足	1											
どちらともいえない	0											
やや不満	0											
不満	0											

## 【研究科の総評】

今回も Web ポータルシステムによる授業評価アンケートであったが、回答率は 73.2%と昨年度の 82.6%を 9.4 ポイントほど下回った。今年度、学生（大学院生）数は増えたものの、アンケートに関する周知が十分でなかったものと反省される。ただし、アンケートの回答結果を仔細に見る限りでは、学生（大学院生）と教員との信頼関係は総じて築かれているとの印象を持った。

まず授業外研究（学修）時間については、前回とは異なり、予習では 1 時間以上 2 時間未満が 31.7%と最も多く、3 時間以上も 22%、2 時間以上 3 時間未満も同じく 22%の計 75.7%であったが、30 分以上 1 時間未満という回答も 22%、30 分未満という回答も 2.4%あった。復習時間については、予習と比べてかなり少なく、30 分以上 1 時間未満と 30 分未満を合わせると 51.2%にも達し、研究を主たる目的とする学生（大学院生）の授業外研究（学修）時間としては、少ないとの印象は否めない。学生（大学院生）の授業外研究（学修）時間を増やすための工夫が必要であると痛感する。

次に、教員の授業に関する項目では、総じて「強くそう思う」と「そう思う」がほとんどであり（92.7～95.1%）、特に授業の満足度については、「強くそう思う」と「そう思う」を合わせると、アンケートの回答した全ての学生（大学院生）が自身の履修・受講する授業科目について満足しているという評価結果であり、大変よかったと感じている。全体として見ても、授業を受講することで、研究への意欲が増進したことは確かなようである。総じて教員の意欲や熱意が感じられたという回答がほとんどで、大学院授業担当教員の努力の結果と思われる。

以上、調査対象の授業科目は多くの学生（大学院生）から良好な評価を受けていると判断可能であり、これを今後も継続する努力が一層、望まれると考える。

新型コロナ・ウイルス感染収束の見通しは、いまだ完全には立っていないが、2023 年度前学期の研究科の授業も、昨年度と同様、教室・研究室にて対面方式で行われる一方、コロナ禍の経験を活かして、manaba や Zoom も併用しつつ、いわゆるハイブリット型の授業や演習も行われ、研究科の教育と研究指導の質を高めることに繋がったと考えられる。

（経済学研究科長 下田 直樹）

【学生向けコメント】

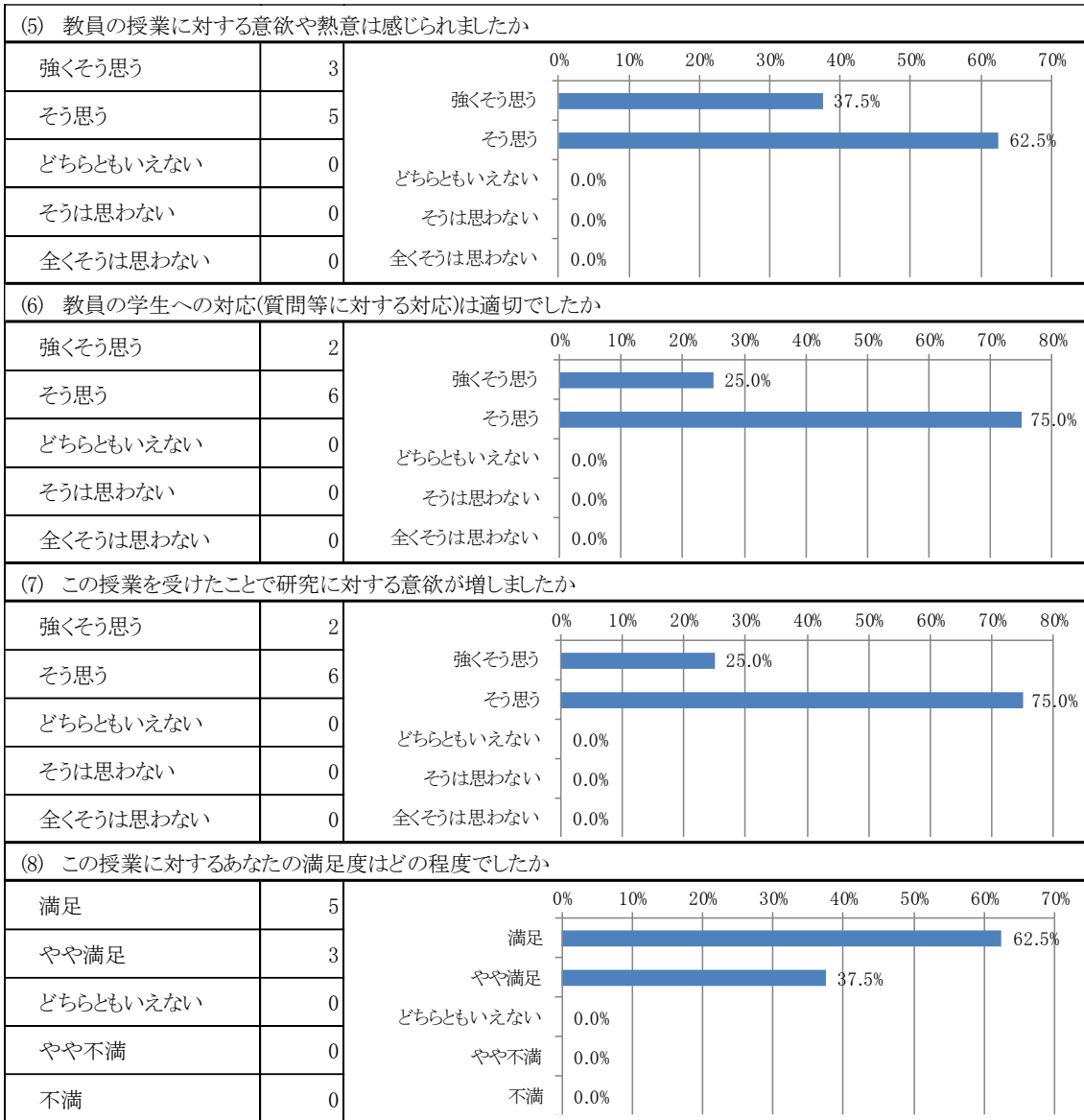
経営学特論
半年間お疲れ様でした。様々な分野の大学院生が集まりましたが、毎回活発な議論が実現できたと思います。後学期は実証分析の方法や解釈について、もう少し説明を加えたいと思います。場合によってはデータ分析実習も行いますのでよろしくお願いいたします。後学期は異なるテキストを用い、人的資源管理・組織論をより詳細に学ぶ予定です。
研究・論文技法演習
引き続き頑張ってください。
ミクロ経済学特論
履修上の注意点など、今後の学修の参考になれば幸いです。
実証分析特論
毎回の課題をきちんと提出した履修者の人たちは、既に修士論文の執筆に必要な実証分析を自力で行うことができる実力がついたと信じています。これからも、授業を通じて培った能力を活かして、優れた修士論文を完成し、専門知識を活かして社会で大活躍してくれることを祈念しております。
経営管理特論
この授業では、毎回レジュメと論点を提出してもらっています。関連する論文なども読まなければならないので大変だったと思いますが、みなさんの協力と積極的な姿勢により、充実した内容にすることができました。ありがとうございます。後学期もこの調子で頑張っていきましょう！
経済政策特論
専門用語の読み方・発音、経済学での表現方法などの習得に心がけてほしい。
会計学特論
ビジネスの言語といわれる会計の基本をとにかく身につけてほしいと思っています。簿記・会計は経済学のような難しい数学は不要で、練習問題を繰り返し解けば必ず理解できますし、これまでは実際に理解できていると思っています。

(3) 不動産学研究科

【集計結果】

対象者数(のべ)	17
回答者数(のべ)	8
回答率	47.1%

(1) あなたはこの授業1回につき、予習に平均何時間取り組みましたか		
3時間以上	0	0%
2時間以上3時間未満	0	0%
1時間以上2時間未満	3	37.5%
30分以上1時間未満	0	0%
30分未満	5	62.5%
ほとんどしなかった	0	0%
(2) あなたはこの授業1回につき、復習に平均何時間取り組みましたか		
3時間以上	0	0%
2時間以上3時間未満	0	0%
1時間以上2時間未満	3	37.5%
30分以上1時間未満	2	25.0%
30分未満	3	37.5%
ほとんどしなかった	0	0%
(3) 教員はこの授業の目的と目標をきちんと説明しましたか		
強くそう思う	1	12.5%
そう思う	7	87.5%
どちらともいえない	0	0%
そうは思わない	0	0%
全くそうは思わない	0	0%
(4) 教員の説明は分かりやすかったですか		
強くそう思う	1	12.5%
そう思う	7	87.5%
どちらともいえない	0	0%
そうは思わない	0	0%
全くそうは思わない	0	0%



## 【研究科の総評】

回答率が前年度の100%から半減以下の47.1%に低下した。一昨年の32%は上回るものの、アンケートの趣旨に対する理解の浸透が必ずしも順調とは言えないことをまず改善する必要がある。

授業に対する学生自身の満足の程度は最も高い評価の“満足”が最も多く6割を超える一方、他の質問項目では最も高い評価を得たものはない。他の質問項目は学生の予習、復習以外はおおむね教員にかかるものであることから、教員の授業への取り組み等に対する学生の評価と学生の学生自身に対する評価にずれがあることについて、その原因を分析する必要がある。その点で、アンケートは貴重な示唆を提示するものである。

予習時間について各年の最も多い回答をみると、2021年1時間以上2時間未満、および、30分以上1時間未満各37.5%、2022年30分以上1時間未満52.9%から、2023年30分未満62.5%と顕著な減少がみられる。ただし、2023年も1時間以上2時間未満が37.5%(2022年は17.6%)あり、予習の取り組み姿勢に2極化がみられる。予習の取り組みの差異が授業の品質確保に影響する可能性が否定できないことから、事前学修姿勢の平準化が課題であることが示された。

復習時間について同様に比較すると、2021年1時間以上2時間未満75.0%、2022年1時間以上2時間未満35.3%、2023年1時間以上2時間未満、および、30分未満各37.5%と減少傾向にある。復習についても取り組み姿勢の2極化が示された。予習を多くしている学生の復習時間が短い、または、その逆も考えられるが、予習、復習ともに取り組みが十分とは言えない学生がいる可能性も否定できないことから、授業への取り組み全般について事前の周知、および、各授業における徹底を慣行する必要がある。

教員による目的・目標の説明、教員の説明の分かりやすさは、ともに87.5%が“そう思う”と回答している。また、教員の授業に対する意欲・熱意、質問への対応は“そう思う”が62.5%、75%と評価し、“強くそう思う”も37.5%、25.0%ある。両項目ともに“どちらともいえない”、“そうは思わない”、“全くそうは思わない”は0%であり、教員の取組みはおおむね適切なものであると受け取っている。もとより、最も肯定的な回答よりではなく2番目に肯定的な回答が最も多いことについては、さらに改善し、最も肯定的な回答を最頻値とするよう努力していきたい。

授業を受け研究に対する意欲が増したかについては、授業が学問的な問いを深掘する視点と影響力を有していたかを評価するもので、質問項目の中でも最も重要な質問の一つである。この質問について、“強くそう思う”25%、“そう思う”75%であり、その他の回答はいずれも0%である。学問的な問いを深掘する観点からもおおよそ適切に授業運営されていると評価する。本項目についても、最も肯定的な回答が最頻値となるよう、学生の研究心や探究力を一層大きく共振させる教授方法を開発していく必要がある。

本件アンケートの対象学生は主として2023年度入学の1年次生であるが、学生数が少ないこと、および、入学までの背景が多様で、意欲、専門知識、語学力などが様々であったこと、さらに、学部からの進学者は学部在籍中に遠隔授業も多く、少人数形式での授業の経験が乏しいことなどから、教員が学生の実情に合わせた授業運営をおこなったことが反映された側面もあると考える。もとより、予習復習をしっかりと励行することで成立し、成果が得られる授業運営が求められる。

(不動産学研究科長 中城 康彦)

【学生向けコメント】

都市空間情報分析特論
上記で書いたように授業満足度は概ね高いが、予習・復習時間が十分ではなかったので、今後はこのような問題点を意識して授業をより工夫することで受講者にとってはもっと有意義な授業になるように頑張りたい。
不動産会計特論
授業の履修お疲れさまでした。皆様には不動産経営分野の研究手法を中心に紹介をいたしました。多くの文献に触れていただいたと思います。その中から自分の研究を進める上でヒントになったものがあればうれしく思います。修士論文を完成させることは非常に大変なことと思います。皆さんの研究には、いつでも相談にのりますので、気軽に研究室に来てください。
日本不動産事情特論
授業評価アンケートにご協力いただいた受講生の方、回答ありがとうございました。アンケートの評価結果を踏まえ、今後とも、さらにより良い講義にしていきたいと考えています。
不動産企画・経営特論
この授業は博士前期課程の中で、不動産学基礎・概論に位置づけられている。授業で用いた教科書は不動産企画・経営特論の授業で利用することを念頭に著したもので、「一步踏み出す5原則」は不動産学研究科以外では学修しない切り口であるとともに、不動産学の展開の可能性を示している。具体的な土地で展開する賃貸事務所の企画経営（経営基本構想、賃貸事業収支計画、投資分析）では時間・空間・不動産の関係を重層的に学修した。